

8月20日に建築・都市システム学系3年 村木雄太君、新田浩史君、谷口正樹君、土屋貴之君が「ソイルタワーコンテスト」で準優勝しました。

8月20日に（社）地盤工学会四国支部が主催する第5回ソイルタワーコンテストが愛媛大学城北キャンパスで開催され、豊橋技術科学大学建築・都市システム学系のチームが準優勝しました。

この大会は、土質力学の専門知識を活かし、与えられた複数の試料を自由に配合することでソイルタワーと呼ばれる円柱を構築し、その円柱の強度と、作るための工夫などのプレゼンテーションなどにより評価される学生参加型のコンテストです。

今年度は3高専、7大学、2企業の計12チームで争われ、建築・都市システム学系3年 村木雄太君、新田浩史君、谷口正樹君、土屋貴之君のチーム「TUT6」が準優勝いたしました。

